

笠間市立稲田小学校いじめ防止基本方針

1 いじめの防止等のための基本理念

いじめは、どの児童にも、どの学校にも起こり得るという認識に立ち、学校、家庭、地域、その他の関係機関が一体となって、継続して、未然防止、早期発見、早期対応に取り組むことが重要である。

いじめ問題にあたっては、学校全体で組織的な取組を進める必要がある。とりわけ、「いじめを生まない土壌づくり」に取り組む未然防止の活動は、教育活動の在り方と密接に関わっており、すべての教職員が共通理解の下、実践することが求められる。

2 いじめの定義

「いじめ」とは、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」をいう。（いじめ防止対策推進法第2条1項）

※ いじめの起こった場所は学校の内外を問わない。

3 いじめ防止対策委員会

いじめ問題にあたっては、「いじめを根絶する」という強い意志をもち、学校全体で組織的な取組を行う。早期発見・早期対応はもちろんのこと、いじめを生まない土壌を形成するための取組を、あらゆる教育活動において展開する。いじめ問題への組織的な取組を推進するため、「いじめ防止対策委員会」を設置し、チームを中心として、教職員全員で共通理解を図り、学校全体で組織的にいじめ防止対策を行う。また、組織が有効に機能しているかについて、定期的に点検・評価を行い、学校評価項目に位置づけ、児童の状況や地域の実態に応じた取組を展開する。

(1) 役割

- ・いじめを未然に防止するための取組や具体的な年間計画を作成する。
- ・いじめの相談・通報の窓口となる。
- ・いじめに関する情報の収集・記録・共有を行う。
- ・いじめ防止のための指導や対応方針を決定する。
- ・いじめを受けた児童又は保護者に対する支援を行う。
- ・いじめを行った児童に対する指導とその保護者に対する助言を行う。
- ・いじめ防止の取組についてP D C Aサイクルで検証を行う。

(2) 構成員

- ・校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、保健主事、各学年主任、養護教諭、豊かな心プロジェクトリーダーを基本とし、状況に応じて学級担任やスクールカウンセラー等を追加する。

4 いじめ防止等の具体的な取組

(1) いじめの未然防止

いじめが起こらない学級・学校づくりに全校で取り組む。そのため、「いじめは、どの学校にも学級にも起こり得る」という認識をすべての教職員がもつ。学校教育活動全体を通して、認め合い、高め合う場を設定し、好ましい人間関係を築きながら、豊かな心を育てるとともに、児童が安心・安全に学校生活を送ることができ、規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加・活躍できる環境づくりを進める。

※ けんかやふざけ合いであっても調査を行う。

※ 入学時・各学年度の開始時に保護者や地域住民が学校いじめ防止基本方針の内容を容易に確認できるように措置を講じ、さらに、児童生徒、保護者、関係機関に説明をする。

※ 性同一性障害や性的志向・性自認について、教職員への正しい理解の促進や、学校として必要な対応について周知する。

① わかる授業づくりを進めるとともに、授業規律の確立を進める。

わかる授業，児童が主体的に参加・活躍できる授業の実践のために，校内研修の充実を図る。とくに，授業規律（正しい姿勢，発表の仕方や聞き方等）の確立を進める。

② 学級活動や学年・学校行事等を通して，子供たちの居場所づくり，絆づくりに努める。

児童会活動や学級活動，学年・学校行事における主体的な活動を通して，児童が自分自身を価値ある存在と認め，お互いを大切に思い，支え合い助け合う仲間づくりに努める。

③ 道徳の時間の充実を図り，人間性豊かな心を育てる。

いじめ問題は，他人を思いやる心や人権意識の欠如から発生するものである。道徳教育において，心根が揺さぶられる教材や資料を吟味し，いじめの抑止につながる授業を実践する。

④ 地域の方や保護者への働きかけを行う。

いじめの未然防止の取組について，学年・学校だよりやホームページ等による広報活動を積極的に行うことにより，地域の方や保護者への啓発を図る。

児童のボランティア活動（I K B活動の推進や地域行事への参加等），福祉体験等の活動を行い，地域の方と交流を深める機会を設ける。

（2）いじめの早期発見

いじめは，早期に発見することが，早期の解決につながる。早期発見のために，日頃から教職員と児童との信頼関係の構築に努めるとともに，教育の専門家として児童の小さな変化を敏感に察知し，いじめを見逃さない認知能力を向上させる。また，児童に関わるすべての教職員の間で情報共有し，保護者とも連携して情報を収集する。

《早期発見の手立て》

① 日々の観察

日常生活の中での教職員の声かけ等，児童が日頃から気軽に相談できる環境をつくる。休み時間や昼休み，放課後の雑談等の機会に，児童の様子に目を配り，「児童がいるところには，教職員がいる」ことを目指し，児童と共に過ごす機会を積極的に設ける。

② 教育相談

児童が悩みやいじめ等についていつでも教師と相談できる体制づくりを行う。全校児童を対象に定期的に教育相談を実施する。

③ 対人関係づくりゲームの活用

グループエンカウンターを通して，児童同士の交流と人間関係づくりを行う。

④ 生活（いじめ実態調査）アンケート

各学期に1回，生活（いじめ実態調査）アンケートを実施する。

いじめられている児童にとっては，その場で記入することが難しい状況も考えられるので，実施方法については，記名，無記名，持ち帰り等，状況に応じて配慮し実施する。

⑤ 保護者との信頼関係の構築

日頃から，児童の良いところや気になるところ等，学校の様子について連絡することを心掛け，保護者がいじめに気付いた時に，即座に学校へ連絡できるよう，保護者との信頼関係を構築に努める。

(3) いじめへの対応

いじめの兆候を発見した時は、問題を軽視することなく、早期に適切な対応をする。いじめられている児童の苦痛を取り除くことを最優先に迅速な指導を行い、解決に向けて一人で抱え込まず、学年及び学校全体で組織的に対応する。また、いじめの再発を防止するため、日常的に取り組む実践計画を立て、継続的に支援する。

① いじめ発見時の対応

いじめを認知した教職員は、その時に、その場で、いじめを止めさせるとともに、いじめに関わる関係者に適切な指導を行う。さらに、ただちに学級担任、学年主任、生徒指導主事に連絡するとともに管理職に報告し指示を仰ぐ。また、正確な事実関係を把握するため、複数の教職員で対応することを原則とし、「いじめ防止対策委員会」の指示のもとに教職員間の連携と情報共有を随時行う。

② いじめが起きた場合の対応

「いじめ防止対策委員会」を中心に対応を決め、以下の対応を迅速かつ組織的に行う。

※ 報告を行わないことは、法律に違反することになる。

- ・いじめを受けた児童に対する支援並びにその保護者に対する情報提供及び支援。
- ・いじめを行った児童に対する指導及び支援並びにその保護者に対する支援。
- ・全体の問題として、児童全体への指導。
- ・いじめ問題が指導上困難である場合には、笠間市教育委員会と連携を図り、指導主事等の派遣を要請し、より適切な対策を講ずる。
- ・インターネットを通じて行われる不適切な書き込み等については、被害の拡大を防ぐため、直ちに削除等の措置を行い、必要に応じて、警察のサイバー犯罪対策室や関係機関等の協力や援助を求める。
- ・いじめを受けた児童が安心して教育を受けられるようにするため必要な措置を講じる。
- ・いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認める時には、笠間市教育委員会と連携のうえ、学校と警察との連絡制度に基づき適切に対応する。

③ いじめが起きた後の継続的な対応

- ・いじめが解消したと見られる場合でも、再発防止に向けて、引き続き3か月以上十分な観察を行い、折に触れて必要な指導を継続的に行う。
- ・教育相談、日記、手紙などで積極的に関わり、その後の状況について把握に努める。
- ・いじめの発生を契機として、事例を検証し、再発防止・未然防止のために日常的に取り組むことを洗い出し、実践計画を立て、いじめのない学級づくりへの取組を強化する。

5 重大事態への対応

(1) 重大事態（いじめ防止対策推進法第28条）

- ・いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- ・いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

(2) 重大事態が発生したときの対応

- ・その旨を笠間市教育委員会に報告し、教育委員会の指導・支援のもと対応に当たる。
- ・児童生徒又は保護者からの申立ては、学校が把握していない極めて重要な情報である可能性があることから、調査しないまま、いじめの重大事態ではないと断言できないことを留意する。

(3) 関係機関への支援要請

重大事態の対応において、笠間市教育委員会と連携の上、必要に応じて専門機関や警察等、関係機関への通報を行い、支援を要請する。

6 いじめ防止のための年間指導計画

月	主な取組	具体的な活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○児童観察・理解 ○学級づくり ○学年・学級懇談 ○生徒指導報告会の実施 ○長欠児童の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎ事項の確認、家庭環境調査の活用 ・学級経営・指導方針・指導方法の決定 ・学年・学級の指導方針の説明 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○配慮を要する児童の情報交換 ○生徒指導報告会の実施 ○虐待防止のための授業実施 ○長欠児童の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の友人関係や実態把握 ・配慮児童に対する共通理解、指導方針等の共通理解 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ調査の実施 ○いじめや自殺予防のための授業実施 ○生徒指導報告会の実施 ○長欠児童の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童へのアンケート調査の実施 ・笠間市自殺予防教育指導マニュアル「かがやき」の活用 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめや自殺予防のための授業実施 ○生徒指導報告会の実施 ○長欠児童の把握 ○個別面談 	<ul style="list-style-type: none"> ・笠間市自殺予防教育指導マニュアル「かがやき」の活用 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・保護者の気になることや悩みの相談 ・保護者からの児童の実態把握・指導の連携 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認 ・保護者からの児童の実態把握・指導の連携
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○個別面談結果の情報交換 ○研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談結果についての情報を共有 ・いじめ問題の理解と対策について事例に基づいた研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○配慮を要する児童の情報交換 ○生徒指導報告会の実施 ○SOS の出し方に関する教育（指導） ○長欠児童の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮児童に対する共通理解、指導・支援方針等の共通理解 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・笠間市自殺予防教育指導マニュアル「かがやき」の活用 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認

10月	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめや自殺予防のための授業実施 ○生徒指導報告会の実施 <p>○長欠児童の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・笠間市自殺予防教育指導マニュアル「かがやき」の活用 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ調査の実施 ○いじめや自殺予防のための授業実施 ○生徒指導報告会の実施 <p>○長欠児童の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童へのアンケート調査の実施 ・笠間市自殺予防教育指導マニュアル「かがやき」の活用 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○人権集会 ○いじめや自殺予防のための授業実施 ○生徒指導報告会の実施 <p>○長欠児童の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作文発表や標語の作成による人権意識の啓発 ・笠間市自殺予防教育指導マニュアル「かがやき」の活用 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○生活ノートの活用 <p>○長欠児童の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ調査の実施 ○生徒指導報告会の実施 <p>○長欠児童の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童へのアンケート調査の実施 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○配慮を要する児童に対する全体会 ○生徒指導報告会の実施 <p>○長欠児童の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮児童に対する共通理解、変容の報告、指導・支援方針等の確認 ・1年間の反省と今後の課題、引き継ぎ事項の徹底 ・毎週、職員集会で「生徒指導報告会」を行い、児童の実態把握を全職員が理解し、共通理解を図る。 ・欠席理由がいじめが原因かどうかを確認